

中の島スポーツグラウンド野球場改修要求水準書

1 改修の概要

- (1) 野球場への人工芝の敷設及び関連工事
- (2) バックネット等の更新
- (3) 競技用備品の整備
- (4) その他、関連設備等の改修等

2 野球場の人工芝化について

(1) 範囲

野球場の全面とする。ただし、野球場 A コートの本塁、各塁及びピッチャーマウンド並びに野球場 B コート本塁周りはクレーとする。

(2) 人工芝の敷設等について

ア 野球、サッカーをはじめとする多種目・多目的での利用を想定し、舗装材は以下の規格を満たすロングパイル人工芝を敷設すること。

なお、底部は開粒度アスファルト舗装 (t=50mm) とすること。

【人工芝の規格】

		直毛型	特殊捲縮加工
芝葉	形状	モノフィラメント形状 400 μ m以上	モノフィラメント形状 280 μ m以上
	本数	1 株あたり 6 本以上	
	織度	15,000dtex/株以上	14,400dtex/株以上
その他		・ 100 万 m^2 以上の国内納品実績を有するメーカーの製品とすること。 ・ (公財) 日本サッカー協会ロングパイル人工芝の製品検査を完了した製品とすること。 ・ 製品の品質を 10 年間以上保証すること。	

イ 敷設した人工芝に以下の競技ラインを適切に整備すること。なお、ラインの整備にあたっては利用者の安全性・競技性等を十分に確保すること。また、サッカーコート及び小学生 8 人制サッカーコートは野球場のクレー部分と干渉しないように適切に配置すること。競技ラインの色は、野球場は「白」、サッカーコートは「黄」、小学生 8 人制サッカーコートは「青」とする。

(ア) 野球場 A コート 両翼 91.44m以上 (グラウンド北東側) 1 面

※ホームベースからバックネットまでの距離を 11.1m以上確保したうえで、両翼の距離を可能な限り長く確保できる配置とすること。

(イ) 野球場 B コート 両翼 79m以上 (グラウンド南西側) 1 面

※ホームベースからバックネットまでの距離を 9.5m 以上確保したうえで、両翼の距離を可能な限り長く確保できる配置とすること。

(ウ) サッカーコート 105m×68m 1 面

※サッカーコートの南側のサイドラインと南側フェンスとの距離は 10m 以上確保すること。

(エ) 小学生 8 人制サッカーコート 68×50m 3 面

※3 面それぞれの間隔を 5 m 以上確保し、フェンスとの距離を 2 m 以上確保すること。

※3 面のうち 2 面はサッカーコート内に整備し、サイドライン及びコーナークラークの一部については、サッカーコートのゴールライン及びコーナークラークを使用すること。

ウ 施設品質（人工芝舗装と下地舗装）を担保するため、（公財）日本サッカー協会が定めるロングパイル人工芝ピッチ公認基準「人工芝敷設前の確認項目」と「ピッチが完成した時点（人工芝敷設後）の確認項目」の基準値が満たされていることを JFA 指定検査機関により確認すること。

エ 指定管理期間内は競技及び市民利用に支障がないよう人工芝の品質保持に取り組むこととし、指定管理期間内の人工芝の経年劣化や消耗、損傷などによる部分張替え補修及び全面張替えについては、指定管理者の負担とする。

オ 上記のほか、以下の項目については必須提案事項とする。

（ア）人工芝の表面温度抑制策などの夏期の熱中症対策や暑熱対策の取組

（イ）人工芝片や充填剤のマイクロプラスチック流出対策などの環境配慮の取組

（ウ）人工芝の部分張替や全面張替の考え方や予定など、指定管理期間内において競技及び市民利用に支障が出ないための品質保持の取組

（3）排水設備等の整備について

雨水を迅速に表面排水することで野球場内に滞水しないような適切な排水設備（外周側溝等）を整備し、浸透した雨水は既設の排水管により野球場外に適切に排水できる構造とすること。

なお、グラウンド勾配は野球場 A コートの各ベースと野球場 B コートの 2 塁ベースホームベースを同一高とし、外周に向かい等勾配を基本としつつ、雨水を迅速に排水処理できる外周側溝、排水管等を整備し、既存流末排水設備から適切に排水すること。

また、人工芝化に伴う流出負荷の増大に対しては排水施設、貯留施設等を適切に配置し対応すること。

3 バックネット等の更新等について

（1）バックネット

野球場 A コートと B コートのバックネット（腰壁含む）については、既設のものと同規模以上のものに更新すること。

(2) ダグアウト

野球場 A コートと B コートのダグアウトについては、既設のものと同規模以上のものに更新すること。また、ダグアウト内に照明、電源、水道を設置すること。

(3) バックネット裏ハウス

野球場 A コートバックネット裏のハウスについては、既設のものと同規模以上のものに更新すること。また、ハウス内に照明、電源、空調、水道を設置すること。

(4) バックネット裏器具庫

野球場 A コートバックネット裏に設置されている器具庫は撤去すること。

(5) フェンス

野球場のフェンス（バックネットを除く）は既設のもの使用を基本とし、全面に塗装を施すこと。塗装にあたっては、事前にその色について市の承認を得ること。

(6) 砂置き場

野球場の北側フェンス沿いに設置されている砂置き場は撤去すること。

(7) その他

ア 水道の整備に伴う給水管については、野球場内を経由することなく周囲の園路等に設置されている給水管から分岐・接続させること。

イ 安全性及び美観の維持の観点から、フェンス等の補修、補強又は更新が必要な場合は適切に対応すること。

4 競技用備品の整備等について

(1) 野球場 A コート

ピッチャープレート、ホームベースは固定式とし、ファールポールは抜き差し式のものを整備すること。

(2) 野球場 B コート

ホームベースは固定式とし、ファールポールは抜き差し式のものを整備すること。

5 その他

(1) 本要求水準書を基本とするが、同等以上の提案がある場合はこの限りではない。

(2) 施設利用者の利便性や安全性、競技性の向上、公園全体の魅力向上等の観点から積極的な追加提案を求める。

【参考】中の島スポーツグラウンド（野球場）の課題

照明の LED 化、公園利用者の安全対策（球の飛び出し等）、観戦環境の充実、多種目・多目的での柔軟な利用、硬式野球（練習など）への対応等

(3) 本要求水準書に定めがない事項又は記載事項に疑義が生じた場合等については、市と事業者が誠意を持って協議し決定するものとする。